

現行高等学校検定教科書の研究

— 内容に光を当てて —

筑波大学附属駒場中・高等学校英語科

共同研究者

久保木 清, 中村 豊, 大西 光興
辻 弘, 加藤 裕司, 笠原 順路

現行高等学校英語検定教科書の研究

——内容に光を当てて——

(英語科研究計画の一環としての研究)

久保木 清, 中村 豊, 大西 光興
辻 弘, 加藤 裕司, 笠原 順路

まえがき——研究の目的と経過

英語科では、「生徒の発達段階に応じた教材の開発」という目標のもとに、研究を重ねてきた。前年度までは、現行中学校・高等学校検定教科書の語彙の調査、及び現行中学校検定教科書の研究を行い、その成果を発表してきたところである。

今年度は、現行高等学校検定教科書を内容面に光を当てて研究を行ったわけであるが、スタッフの人数が限られているため、目次に挙げてあるように、at random に5種類の教科書を選び、それらについて調査した。この点で、調査としては、はなはだ不十分なものである。しかし、我々の目的は、検定教科書のあら探しを行うことでは決してなく、生徒の発達段階に応じた教材の理想像をとらえていこうとするものである。したがって、調査した教科書の種類が少なくとも可能だと判断した。この研究をもとにして、望ましい教材の姿を明らかにし、その理想像に一步でも近づいた教材を開発していきたいと我々英語科一同は考えているのである。

なお、Case Study として国際理解について扱った理由は次の通りである。

指導要領(53. 8)に「① 外国語を理解、② 外国で表現する能力を養うとともに、③ 言語に関する関心を深め、④ 外国の人々の生活やものの見方などについて理解を得させる。」とあるが、①、②は能力であるから読本の内容自体とは無関係であると判断した。③、④いずれも研究の対象になり得るが、時間の関係で、取り扱われている件数の外に④を Case Study とした。

目 次

I 分類表の見方	144
II 分類表	157
III 分類表の総括	145
IV ケース・スタディ——国際理解という観点から優れている課を論ずる	
<i>Unicorn English Readers</i>	146
<i>The Senior English Readers</i>	147
<i>A Better Guide to English Reading</i>	148

<i>New Horizen English Readers</i>	149
<i>The Crown English Readers</i>	152
V 国際理解についての各教科書の取り扱い	
<i>Unicorn English Readers</i>	153
<i>The Senior English Readers</i>	154
<i>A Better Guide to English Reading</i>	154
<i>New Horizen English Readers</i>	155
<i>The Crown English Readers</i>	155
VI 国際理解総括	156

I 分類表の見方

1. ジャンル

1種類の教科書を見渡した場合、様々なジャンルを扱っている方が好ましいと考えた。例えば、手紙文であれば、英文の手紙の書き方を指導できるだろうし、会話文・戯曲であれば、口語的表現を指導できるであろう。普通のジャンルには、手紙文・会話文は含まれないが、英語の教科書であるという事を考慮に入れ、特に付け加えた。

ここでは、各課について、1つの項目を選び1点を与えた。

2. 内容

題材と素材に分けて、それぞれを分類した。題材は、当該の課の主題を導き出す内容であり、素材は、その課に含まれる情報の量である。二つに分けた理由は、例えば、“Anesthetic”について扱ってあれば、題材としては、自然科学に分類される。しかし、実際の内容が麻酔についての科学的考察ではなく、麻酔の歴史について扱ってある場合もありうる。したがって、主題にとらわれず、実際に書かれてある内容についての分類を素材という項目で扱い内容をより明確にした。

各項目について数量化するために、題材については、各課について1つずつ項目を選び1点を与え、素材については、各課に4点を与え、情報量に応じて配分した。4点という持点では、正確に数量化することはできないが、大体の傾向がつかめれば十分と考えた。

3. 指導・啓発領域の質

ジャンル・内容については、客観的に分類し、何も価値判断は加えていないが、指導・啓発領域の質という項目で、内容についてさらに詳しく指導を深められるか、内容から何かを啓発することができるかどうかという観点から、質についての判断を加えてみた。主観的判断を排除することは不可能であるが、なるべく公平に判断するように努めたつもりである。

項目については、言語に関する関心、国際理解は、英語という教科の柱となるものであるので

特に加えた。ただし、言語に関する関心は、英語の教材があれば、どこからでも関心をひき出すことができるので、ここでは、特に言語について正面から扱っているものに限定した。

また、この項目と、素材の項目を比べることによって、ある程度教材の内容の質を評価する手掛りになる。素材の項目で点が与えられているにもかかわらず、この項目で点が与えられていないければ、その課が、その項目についてあまり良く扱われていないのではないかとということが考えられそうである。

Ⅲ 分類一覧表の総括

1. ジャンル

教材として、様々なジャンルを扱っていることが好ましいと、前に述べたが、この点については、どの教科書も、だいたいどのジャンルをも扱ってある。ただ、いくつかの教科書で、詩が扱われていないが、英詩は一般の高校生には高度なものであろうが、英語の教材として是非扱いたいものである。多くの生徒が英語で歌われる歌に興味を持っている現状では、例えば、韻律法にふれてみるのも生徒に違った目で英語の歌をもう一度見直す機会を与えるという点で良いのではないかと考えられる。このことが、ひいては、英語に興味を持たせるきっかけの一つになるのではないかと考えられる。

2. 内容

生徒が将来、多様な分野で活躍することを考えると、どの分野に進んでもよいように、教材の内容も、あらゆる分野に渡っていて、あらゆる分野の基礎的な語彙を覚えられるようにしたほうが好ましいと考えられる。この点で、教科書によって多少偏りがあるようである。

また、いわゆる雑記事に分類されるものが、1年の教科書に多く集っている。これは、1年の段階では、文法・語彙の面で制限があるのである程度やむを得ないかもしれないが、高校1年ともなれば、ある程度の内容がなければ満足しないのではなからうか。高2の生徒が1年で学んだ教科書にどんな課があったかを覚えていないという事実からみて、生徒の発達段階に合わせた心を打つよう教材がもっと多くてもよいのではないかと考えられる。

3. 指導・啓発領域の質

表では、一応数量的に表されているが、さらに客観的資料とするためには、これからの研究を待たなければならない。

今回は、国際理解を取り上げて、次の項目でふれているので参照していただきたい。その他の点で、一般的傾向として言えることは、言語についての関心について、もう少し言語について正面から取り上げたものが多くてもよいのではないかと考えられる。

また、各専門的な領域について、表面的にしか取り上げていないものが多く、すでに生徒が知っている場合が多い。これでは、生徒に対する刺激が少なく興味も湧かないであろう。英語を通

して専門的なことを初めて学んだというような課があっても良いように思われる。

以上簡単ではあるが表の総括を終えたい。今後の研究として、この表をもとにして、理想的な教科書像を考え、教材作成の参考にしたと考えている。

IV ケース・スタディ——国際理解という観点から

Unicorn English Readers

Book I, Lesson 10, “Americans in London”

ロンドンに旅行して帰国したアメリカの少年 Dick と Harry の感想を聞いて、Dick のおじが二人の、英国人に対する皮相的な誤った理解を正す。

○ 少年たちの感想

I hear they often hate to come out into the open and say what they think and feel.

I think that English people hate to be thought different from other people, and everything seems to be uniform in England.

○ それに対して、次のようなことばで始めて、例証しながら、二人の誤った理解を正す。

On the surface it is true, but I think Englishman really does like to keep his personal character.

▶ 外国人や他人に対する、先入観や皮相的な観察に基く軽率な判断をいましめ、反省させる教訓を含み、よい教材である。

Book I. Lesson 14 “Americans on the Go”

- Americans are always on the go.
- Americans have a long history of moving about.
- For three hundred years America’s history was one of searching for a better living and moving farther west.
- They were people who faced the future.

アメリカ人の生活様式の一様性、殊に、あのような広大な国土にもかかわらず、地域ごとの言葉の差異が少ないのは、アメリカ人が絶えず移動*することに深い関係があると言っている。

* 転居をくり返し、旅を好み、職場を渡り歩くことなど

▶ アメリカの国民性の最も顕著な点の由って来るところがよく説明されており、風物紹介の観光記事にはない深みのあるよい教材である。

Book II. Lesson 13 “Winter in Moscow”

7か月も続くモスクワの長い厳しい冬の間のソ連人の生活を描いている。

• It is a traditional mistake to suppose that Russians are used to severe winters.

▶ 寒さが厳しいから、warm boots, fur coats を欲しがるとか、暖房や雪かきの機械の操じ

ゆらがうまいとか、晴れた日を待ちのぞみ郊外へスキーに行くとか、厳しい冬ときけば、説明されるまでもなく、容易に想像できるような、皮相的な生活が述べられているだけで、厳冬がソ連人の国民性にどう影響しているかとか、ソ連人の物の考え方や態度をこの課から知ることは出来ない。

▶ 高2の、しかも学年末に近い頃の読み物としては内容が貧弱。使われている英語の程度からいっても、内容の深さからいっても、高1の Lesson 14 Americans on the Go などと入れちがえたのではないかと思えるほどである。

The Senior English Readers

Book II Lesson 8

アフリカの紹介として、単なる人文地理的紹介に終らず、アフリカ原住民の精神構造にまで迫っている点で、すぐれていると思う。

○ヨーロッパとアフリカの違い

• *The first thing that I tell the Africans is that in Europe there are forest fires. Here in Africa this is beyond their imagination, for it is so damp even in the dry season that the forest can scarcely catch fire.....*

• *The second thing to tell them is that in Europe people row for pleasure, which statement is usually followed by uncontrolled laughter..... The Africans could hardly imagine what sport is. The uncivilized conditions in Africa compel them to use their physical force in so many ways that they cannot understand at all why Europeans row boats except under compulsion.*

• *The third thing I tell them, which they find the most unbelievable of all is that in Europe a man can marry without having to pay for his wife.*

▶ シュバイツァーという、西欧社会の中で生れ育った人がアフリカ原住民の中で暮して、直接に感じた、西欧とアフリカ原住民の考え方の違いが出ている。

単なる「国際理解」という点をこえて、一つの文明批評という点にまで及んでいる点で、優れていると思う。

Book III. "China Seen by a Westerner"

西洋人から見た中国という点で興味がある

○中国精神を表わす人

As Confucius teaches us a sensible way of life. The two poets (Li Po & Tu Fu) show us how to enjoy it to our hearts' content. No others could represent the Chinese to us so well as these three master spirits.

○中国歴史の古さ

.....reliable Chinese history extends back to 1300 B. C., many centuries before Europe came out of barbarism. The great antiquity of Chinese culture, then, places it close to the very ancient civilizations of the Egyptians and Sumerians.

○中国の南と北の特徴

- The people to the north of the Yangtze, molded by a temperate climate, are tall, healthy children of the soil, and appear to be both physically and mentally robust. From these hardy folk have come all the native dynasties of Chinese emperors.
- (The people of the south) peaceful and even timid by nature, they have submitted for centuries to the rule of their northern brothers, but have excelled in their turn as shrewd merchants and traders.

○中国文明の本質がよく描かれている

◎Struggle and change, for good or evil, are at the core of our Western tradition, but the Conservative Chinese, satisfied with their pattern of life have gone their accustomed way since the time of Confucius in the fifth century B. C. down to the Communist revolution of our day.

Only in our own century has the invasion of foreign ideas and political systems brought great changes in Chinese life, at first a pale imitation of Western democracy, now an Oriental type of communism. But in the long run it seems likely that the Chinese will assimilate these ideas also without losing their essential point of view.

▶ 日中平和友好条約が結ばれた折でもあり日本人の関心が中国大陸へと大きく飛躍しようとしている時、日本人として、中国ならびに中国人というものの本質を理解する必要に迫られている。

よくまとまっており、かつ内容的に言っても、本質的なものに迫っているように思える。

かつ、中国の理解ばかりでなく、これを書いた西欧人の眼を通して、西欧への理解の手がかりが与えられるように思われる。

A Better Guide to English Reading

Book III. Lesson 6 "It's the American Way, Isn't It?"

イギリス人ジャーナリストがアメリカでの生活体験から、英米の文化の比較を行なう。

In Britain, one of the duties of good citizenship is not to disturb the private life of other citizens. In America, it's the other way around—not to disturb others who are enjoying their private life in public.

At any rate, if you want to live here in any spiritual comfort, you have to allow for a wide variety of temperament in your neighbors and approve a sharp clash of tastes..... that is, you are expected to have a sort of tolerance.

- ▶ とかく我々は英米を、同じ英語文化圏ということ、同じように見る傾向にある。この Lesson はイギリスとアメリカは2つの異なった国であることを教えてくれよう。

Book III Lesson 12 “The Art of Living”

アメリカの歴史によるアメリカの文明批評。

- ▶ ヨーロッパの価値観との対比においてなされている点、国際理解に資すること大であろう。
○ヨーロッパの価値観とアメリカの価値観を比べ、次のように言う。

It is not without significance that in Europe the ordering of life is spoken of as “the art of life”, whereas when any such discussion takes place in America, it is usually under the title, ‘the business of life’.

- 作者は ‘the art of life’ に軍配を上げ、さらに ‘the art of life’ を達成するには ①courage, ②thought, ③will が必要であると説く。そしてアメリカ人はこれらの素性がないと次のように述べる。

Americans pride themselves on their courage and individuality and boast of the frontier spirit, but the fact is that they are, as far as I know, the most cowardly race in the world, so far as social life is concerned. One has to fight to be one’s self in America as in no other country I know. Not only are most Americans anxious to conform to the standards of the majority, but that majority, and particularly the advertisers, insist that they shall.

- 作者は自らの生活体験より以上の論を support して、そのようなアメリカ人に対して courage, thought, will の必要性を強調していく。

- そして、それら3つの素性をそなえた人間性を養っていくことがこれからのアメリカ人（および同様の文明社会に住む人々）の課題であるとして論を閉じる。

If you have the courage, if you can decide, then you may achieve an art of living if you have the will to see it through.....Your life will no longer be a machine-made product identical with millions of others, but a work of art which will give joy to yourself and others because it is like no other.

- ▶ この Lesson は国際理解そのものを狙った課ではない。むしろ文明論とでも言うべきものかもしれない。しかしこの文明論を読むにあたって外国の人々のものの考え方を考慮に入れなくては論旨は明確には伝わってこないだろう。この論を読むことで生徒の国際感覚が豊かになることも事実であろう。

New Horizon English Readers

Book II Lesson 8 “American Social Relations”

アメリカの国民性を、具体例をあげながら説明している。その具体例の中に、実際に渡米した場合役に立つ社交術なども含まれている。

- American society is much more informal than that of many other countries and, in some ways, is characterized by less social distinction.
- Americans in general do not like to be considered inferior, and they grumble loudly about inconveniences or not getting a “fair deal”. Yet they do not make a point of their personal honor.
- While Americans like to talk about their accomplishments, it is their custom to show a certain modesty in reply to compliments.

△ “Congratulations upon being elected president of the club”

“Well, I hope I can do a good job”

△ “That’s a pretty blue necktie you are wearing”

“I’m glad you like it”. or “Thank you. My wife gave it to me for my birthday”.

- Students do not rise when a teacher enters the room.
- Yet in spite of all the informality, America is not completely without customs that show consciousness of social distinction.

{ employee : “Hello, Mr. Ferguson.”

{ employer : “Hello, Jim.”

- American surface informality often confuses the foreigner because he interprets it to mean no formality at all. He does not understand the point at which informality stops.

△ A teacher, though friendly, and informal in class, expects he said to a native, “I don’t speak your language very well,” and native replied, “I should say you don’t.”

△ (アメリカならば)

“Well, you have only been here two months,” or “But you’re making progress.”

- Although Americans are quite informal, it is best for a foreigner, in doubt, to be too formal rather than not formal enough. Consideration for others is the basis of all courtesy.

▶ この他各文がむだのない comment でありそれぞれが、くわしく発展できる要素を含んでいる。また前述のように、一般的にふれたあとで、具体例をあげるという構成になっているので、生徒も理解しやすい。また実用的な面も含まれている。以上のような点を総合すると、国際理解の一環として理想的な教材の1つであるといえよう。

students study hard, and he grades each student’s work critically and carefully. He also expects to be treated with respects.

△ While students are free to ask questions about statements by the teacher, they are not expected to contradict him.

- Also because an American is perhaps more likely to admit and laugh at his own mistakes than one who stands more on dignity, a foreigner sometimes does not know how to

handle the American's apparent modesty.....

However, the stranger must not be too quick to agree with him.

△ (逆の例)

An American student reports that when he was in a foreign country he was completely stunned when

Book III Lesson 6 "The English Character"

Book 2 の L. 8 American Social Relations と同様, 具体例をあげながら, イギリス人の国民性について述べている。

• To other Europeans, the best known quality of the British, and in particular of the English, is "reserve"

△.....he never tells you anything about himself, and you may work with him for years without ever knowing where he lives, how many children he has, and what his interests are.

スコットランド, ウェールスとも比較して述べている。

• This reluctance to communicate with others is an unfortunate quality in some ways, since it tends to give the impression of coldness, and it is true that the English (except perhaps in the North) are noted for generosity and hospitality.

On the other hand, they are perfectly human behind their barrier of reserve, and may be quite pleased when a friendly stranger or foreigner succeeds for a time in breaking the barrier down. We may also mention at this point that the people of the North and West, especially the Welsh, are much less reserved than those of the South and East.

"modesty" について

Self-praise is felt to be ill-bred. If a person is, let us say, very good at tennis, and someone asks him if he is a good player, he will seldom reply, "Yes,".....

→"I'm not bad." "I think I'm quite good.".....

"sense of humour" について

△Its starting point is self-depreciation.....

△Its ideal is the ability to laugh at oneself——.....

△A sense of humour is an attitude to life rather than the mere ability to laugh at jokes.

△The English do not laugh at a cripple or a madman, a tragedy or an honorable failure.

"sportsmanship" について

Rules are the essence of sport, and sportsmanship is the ability to practice a sport in

obedience to its rules, while also showing generosity to one's opponent and good temper in defeat.

- ▶ Book 2 の American Social Relations に比べて、実際の会話文があまり含まれていないという点で、実用性に多少欠けるという点があるが、比較的高度な扱い方をしているので、生徒の発達段階に適した教材であるといえよう。また、イギリス人に限らない普遍的な道徳性 (The Englishmen do not laugh at cripple or a madman.....) についてもふれていて、単なる国際理解以外にも発展できる内容を含んでいる。

Crown English Readers

Book II Lesson 3. "Mahatma Gandhi"

ガンジーがイギリスの支配に暴力を用いずに抵抗し、宗教の異なる人々をまとめ、インドの独立を達成し、最後には暗殺されるまでの話が書かれている。

地理的・世界史的内容が豊富に盛り込まれている。その扱い方があまりくわしすぎず、教師が補足説明を加える余地を残して、発展性のある教材と言える。

- In 1919 a new law was passed by the British government of India.....
 - He called on his fellow citizens to hold a day of morning and prayer as a protest.
 - The Moslem party would not yield, and in the end the division into Pakistan and India had to be allowed.
 -in 1945, when the British labor party came into power in England after World War II, India was allowed to draw up its first democratic constitution. Self-government at last.
- また単なる国際理解にとどまらず、ガンジーの生き方についての描写もあり、心を打つような内容になっている。
- He felt that he had failed in his mission of love. In the hope of receiving spiritual guidance without interference from his body he undertook a fast.
 -Always his risk of death won repentance for violence from his people or a concession from the British.

Book III Lesson 9 "The Promise of Japan"

○日本が他国の人々にどのように映っているか。

For lack of better understanding, too many regard Japan as a threat, and too few perceive Japan's great promise.

○日本と他国との理解を妨げているものは。

An underlying factor which blurs Japan's communication with the rest of the world is, I believe, that deep-seated feeling of cultural uniqueness and apartness which Japanese

have of themselves—and which the rest of the world has come to see in them.

○言語の障害の大きさをあげている

The most formidable of these barriers is language.....I am convinced that Japan's communication with the outside world will continue to be inadequate and distorted by misunderstandings until the teaching of foreign languages—especially English—is vastly improved in Japanese schools.

○日本と他国とが交流することによって、双方が利益をうることを述べている。

.....for the Japanese people have much to gain from a more cosmopolitan appreciation of other civilizations, and Japan has great cultural riches to share with others.

▶▶若干、各論点とも、具体的事項の指摘が乏しい感じがするので、授業者にて、補う必要があろう。

▶しかし、日本をよく知っているアメリカ人の眼から見た日本人への警告の書であり同時にアメリカ人に対しても、批判すべき点は見失っていない。

このような意味で、日本人がこれから世界に飛躍しようとしている時、心得ておくべき数々の警告として、貴重な「国際理解」の資料を提供していると思われる。

V 国際理解についての各教科書の取り扱い

Unicorn English Readers

「国際理解」に直接かかわる記事に現れる地域と取扱件数

北米	南米	西			欧		ソ連	日本
合衆国	ペルー (インカ)	イギリス	オランダ	西ドイツ	ギリシア (クレタ)	西一 般		
		2	1	1	1	1		
8	1	6					1	2

18件のうち過半数の10件が一年生、5件が二年生、三年生の教科書にはわずか3件。

扱われている地域も合衆国と西欧のみと言ってもよいほど偏りがある。アフリカ、北欧、東欧などはまったく扱われていない。ペルーやギリシアは現代の姿、現代人の生活や物の考え方ではなく、消滅した文明についてである。

神話や古代史が、この教科書には比較的多いのだが、それが現代人の考え方や生活にどのように影響しているかまで掘り下げた内容であれば、「国際理解」に資するところももっと大きくなるだろう。

人々の生活や考え方や国民性を知る上で大変役に立つ記事がいくつかある反面、風物や生活の表面を離れて眺めるだけで、そこに住む人々の生活態度や物の考え方が少しも伝って来ない記事がいくつもある。そこに住む人間の心をつかめるような記事がもっとほしい。

The Senior English Readers

表I 扱われている国, 地域別分類

国または地域		課の数
欧米全体		18
合衆国		10
南米		0
西 欧	全体	2
	イギリス	5
	スイス	1
ソ連		1
ア ジ ア	中国	1
	豪古	1
アフリカ		1

表II 内容別分類

	課の数
外国の人々の生活	14
外国の人々の物の見方	13

以上の点についてコメントを加えると、「地域別」についても、アジア、アフリカ、ソ連、中国なども出てきており、かつアメリカ合衆国とイギリスが回数も多い点を考えると、一応妥当な線と言えよう。

一方「内容別」についてであるが一つの課、又は一つの箇所が「外国の人々の生活」にもとれるし、「外国の人々の物の見方」にもとれる所があるが、それらを含めて全部加えてみると、大体上記のような割合になるので、一応妥当な線といえよう。

A Better Guide to English Reading

A Better Guide to English Reading は英米中心主義をとっている。One Lesson をさいて英米以外の国のものを扱っている課は、ギリシア神話（2題）、ゲーテの詩一篇（One Lesson のうちの半分）、モーパッサンの戯曲（一篇）の計三課のみで、その他は英米のものである。

内容の優れている課については前記の通りだが、内容の貧しいものとして Book I, a. 7 “A Letter from England” を指摘したい。イギリス人の少年 George が Stratford-on-Avon を訪れた時の様子を海外の pen-pal（アメリカ人か？）の Thomas に知らせる手紙文の形式をとっていて、Stratford や Ann Hathaway's Cottage に関するかなり詳しい叙述（ex. 壁に落書きがしてあったこと；Sh. (Shakespeare) が用いた机のこと；庭には色々な草木があったこと；そのなかのクワの小枝を George の友人が Sh. 好きな伯父にあげるために一本折ってくること；Sh. の墓地のこと；George が Ann Hathaway's Cottage で Sh. の時代を偲ぶこと）がみられるが、ただそれだけの内容で、Sh. の作品や、人間については全くふれられていないのは残念である。本教科書三巻を通して、世界の文豪 Sh. を扱ってあるのはこの Lesson だけだということを考えるとなおさらである。

また、*A Better Guide to English Reading* は昨今のアメリカ中心主義の風潮の中にあつて、イギリスのものをかなり多く取り入れている（米：英＝15：15）のはおもしろい。発音記号などはすべて英式に統一されている。ただし、米式発音が併記されていないことにももの足りなさを感じないわけではない。また spelling においては英式、米式の混用（イギリスのものに米式発音を用いられているものも多い）がみられるが、この点、出版社としての編集方針がよく分らない。

New Horizon English Readers

国際理解の扱い方については、各課の中で扱える内容はいくらかもあるのだが、正面切つて扱つてあるのは、先にあげた例の他に数課あるかないかというところである。しかし、教科書が色々なジャンルのものを扱わなくてはならない性質上、やむを得ない点があるが、もう少し正面切つて扱つたものがあつてもよいかもしれない。（英米以外の国など）。この教科書では Lesson 以外に、詩、新聞記事、迷信などを別項目で扱つており、色々な面から、国際理解の手助けになるように工夫している点がおもしろい。

その他、Book II, L. 3 Jackie Robinson のように人種問題をからめた優れた教材もあるが、Book I, L 11, His First Car のように単にフォードが車をつくることに成功したエピソードを書いてあるだけで、あまり心にうったえるものがないようなものもある。観点を変えて見れば、国際理解を深めるのに役立つような課がいくらかあるようである。特に一年の教材には、そういうものが多い。もっとも一年生の学力からいえば止むを得ない面もあるかもしれないが、一応、次の二点について表を作つてみる。

The Crown English Readers

表 I 扱われている国別・地域別

国別・地域別	扱われている課の数
アメリカ合衆国	14
カナダ	1
メキシコ	1
イギリス	6
ドイツ	1
日本	2
インド	1
中東	1
未開地域	2
世界全体	1

←このうち「南部」を扱つた課が2つ、「黒人」のものを扱つたもの1つがある

表 II 国際理解の内容

外国人の生活	外国人の物の見方
20	24

以上の表について、説明と分析をしてみると地域的には、アメリカがかなり多く、イギリスをはるかに凌いでいるが、一応、やむを得ないことと思われる。この中で、特に、南部を扱つた課が2つ、黒人を扱つた課が1つあることは注目に値するし、課の内容も青少年に感動を与えるようなものであり、好感が持たれる。

他の地域の分布については、それ程言うことはないが、特に「未開」地域を扱ったもので、逆に文明世界の実相を教えるものとして、興味のあるものがある。

1つは、Book III Les. 5. The Nomad Life の the Bakhtiari in Persia であり、もう1つは、やはり Book III Les. 13 The Winter of Man の中の the Eskimos である。

The Nomad Life の結語 What happens to the old when they cannot cross the last river? Nothing. They stay behind to die. Only the dog is puzzled to see a man abandoned.

The man accepts the nomad custom ; he has come to the end of his journey, and there is no place at the end. は、未開・文明を問わず、人間一人一人の姿が描き出されて居り、我々が未開と思っている民族の生活の中に、日頃、気付かぬ我々の姿があることを教えられる。

また、Les 13. The Winter of Man の中で、Some fifty years ago an Eskimo shaman standing in the snow was questioned about his religious beliefs by the explorer Knud Rasmussen. "I do not believe," remarked the old man who was adorned with amulets to ward off evil. "We only fear. We do not understand. *But most of all we fear the doings of the heedless among ourselves.*"

下線を施した所からも判るように、はからずも、我々よりは未開と思っていたエスキモーの老人の言葉の中に、公害等に悩む我々の姿がうつし出されている訳で、このことを生徒達に気付かせると、文明又は未開といった短絡的な見方ではなく、文明であれ、未開であれ、そこに流れている人間の真実の姿とは何かといった事への興味に、生徒を導くことが出来ると思う。

このように、国別・地域別に見て、非常に優れた内容を持ったものと考えられる。

次に、表の「国際理解の内容」であるが、ここにあげた殆ど全ての課が、check してみると、「外国人の生活」について述べてもいるし、また「外国人の物の見方」についても述べているように思えた。要は、その扱い方の深さいかにあろうと思われるが、いずれを見ても、内容は相応に、つまんだものであり、かつ、青少年の心に訴えるものが多いと思われる。

VI 国際理解総括

外国の人々の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史などを単に羅列するばかりではなく、各々の素材が相互に密接な関係を保ちつつ、過不足なく課の主題に結びつくようにしなくてはならない。また論説文等においては、それらの素材を用いて、(その国の)文化の本質へ迫っているもの、もしくはその様な扱いに耐え得るだけの質をそなえた素材が望まれる。

II 高等学校英語検定教科書分類表

分類 教科書	ジャンル										内容						指導・啓発領域の質											
	小説		戯曲		詩		その他		文芸		科学		その他		国際理解	一般教養			その他									
	手紙	随筆	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文		文	文	文		文								
Unicorn English Readers	I	2	1	3	1	1	3	1	1	4	7	2	2	8	1	27	12	2	10	3	7	4						
	II	5	1	2	2	1	5	1	5	1	5	2	2	2	8	3	39		4	3	4	5	1	2				
	III	1	5	2	2	2	1	5	2	4	4	1	4	11	2	39		8	5	1	3	1	6	1	3			
	計	8	7	7	5	1	3	4	2	0	4	14	3	2	16	0	0	5	6	19	1	9	1	12	15	2	5	
The Senior English Readers	I	4			3				6	5	1	2	3	2	7	9	10	8	18	3	20	3	4	7	11	1	3	
	II	4	1		1	3		3	6	1	2	1	1	8	5	13	8	10	1	19	2	4	1		6	7	4	
	III	2	4		1	2			4		4	1		2	2	8	1	23		24	4		3		8	1		
	計	10	5	0	4	1	1	5	0	8	15	1	8	4	1	17	16	31	17	4	63	9	8	11	0	25	8	8
A Better Guide to English Reading	I	4	2		1	1	2	2	1	3	2	1	3	2	30	11	3	11		7	9	7	2	6	1	8	3	
	II	3	1	1		4	1	1	3	9	2	1	2	1	24	21		7		7	8	6		3		4	2	2
	III		7		1	1	4	4	1	11	1	4	2		27	16	9	11		3	6	16	7	6		5	5	
	計	7	10	1	3	2	2	10	2	6	7	1	2	8	81	48	12	29	0	17	23	29	9	15	1	17	10	2
New Horizon English Readers	I	3		4	1	1	1	2	2	3	9	1	2	2	25	11	2	6	16		7	3	1	2	6	8	4	
	II	2	1	4	5		1	2	2	9		4	1	1	28	3	9	5	14	3	7	3	3	2	4	9	5	2
	III	2	4	1	3		3	2	1	8	2	2	1	1	29	6	6	5	9	6	7	2	3	3	6	8	1	4
	計	7	5	9	9	1	1	6	0	6	6	2	8	4	82	20	17	16	39	9	21	8	7	7	16	25	10	6
The Crown English Readers	I	2	1	4	1		3		3	8	1	1	2	2	11	10	3	8	14		10	8	1	3	3	4	6	2
	II	2	1	4	2	1	2	1		8	1	2	1	1	16	13	4		8		12	8			2	7	2	2
	III	1	6	1	4		1			5	1	5	1	1	12	8	17	1	15	6	10	8	8		1	12	3	
	計	5	8	9	7	1	0	6	1	0	3	21	2	1	39	27	24	9	37	6	32	24	9	3	6	23	11	4

分類	ジャンル				内容							指導・啓発領域の質									
	説明文	説物語	文筆	文	手紙	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文		
1. My First Spring			1					1											1		
2. Welcome Idol	△				1																0
3. Camellia					1																
4. Loch Ness Monster			1					1													1
5. Prometheus and Pandora																					1
6. Traveling along the Rhine								1													
7. A Jewel in the Wine-dark Sea	1				1																
8. Fall Begins	1							1													
9. George Gershwin			1																		
10. Americans in London	△																				
11. Paul Bunyan, the Giant Lumberjack																					
12. To Please His Mother																					
13. The First Explorers of the Antarctic			1																		
14. Americans on the Go	1																				
15. A Unicorn without a Horn																					
小計 (1学年)	2	1	3	1	1	3	1	1	1	4											
小計 (2学年)																					
小計 (3学年)																					
総計 (金学年)																					

分類 課	ジャンル				内容				指導・啓発領域の質															
	説明文	論説文	物語文	小説	詩	その他	題				国際理解	国語に関する関心	一般教養	その他										
							人文	芸術	言語	社会					科学	スポーツ	その他	素材						
1. Spring	1				1	1			2	2		2			2									
2. Three Humorous Stories					1	1			4			2			1		1							
3. Ken's Diary					1	1					4													
4. Franz Schubert	1					1					4													
5. Switzerland											4				2									
6. The Silver Elephant					1	1											2							
7. The Changing Land of Genghiz Khan											4				2									
8. Early Adventurers	1					1					4						2							
9. The Sun	1									1							4							
10. On Reading																								
11. The Rivals						1																		
12. The Wonderful Spinners						1				1					1		1							
13. The Last Lesson						1					2				2		1							
小計 (1学年)	4				6	5	1	2	3	2	7	9	10	8	18	3	20	3	4	7	11	1	3	
小計 (2学年)																								
小計 (3学年)																								
総計 (全学年)																								

分類 課	ジャンル				内容						指導・啓発領域の質															
	説明文	論説文	随筆	その他	人文	芸術	言語	社会	科学	スポーツ	その他	文芸	人文科学	社会科学	自然科学	その他	国際理解	一般教養	情操	道徳	その他					
1. Tell Something about Yourself											1						1									
2. What a Busy Day											1						1									
3. The Story of Gris												4					1				1					
4. Work into Play												4					1				2	1				
5. The Last Stamp												2	1				1				1	1				
6. More Frightening than the Story												4														
7. Letter from England													2				1									
8. What Use Is a Newborn Child?												1	1	2			1	1	1		1	1				
9. No Pains, No Gains												1	1				1					2				
10. Science Tells Us														4									2			
11. What Do you Know about This Word?																	2						1			
12. The Conquest of Air and Space														1	1	1		1	1	1			1			
13. The Christmas Present														4									2			
14. How to Enjoy English Poetry														3	1		2	1	1							
15. Stopping by Woods on a Snowy Evening														4			1						1			
16. Using Scientific Methods														1	1								1			
17. Unusual Friendship														2	2								1	1		
小計 (1学年)	4	2	1	2	2	1	1	3	9	2	1	3	2	30	11	3	11	13	7	9	7	2	6	1	8	3
小計 (2学年)																										
小計 (3学年)																										
総計 (全学年)																										

分類 課	ジャンル				内容				指導・啓発領域の質				その他						
	説明文	論説文	手紙	会話文	小説	戯曲	その他	物語	人文	芸術	言語	社会		科学	その他	国際理解	一般教養	情操	道徳性
1. Make No Mistake about It								1						2	2	1			
2. The Old Man and the Sea		1						1						4	1	1		1	
3. Glass Goes Modern	1									1			4				1		
4. I Never Forget a Face					1									4					
5. Ball Games, Post and Present	1								1					4		1			
6. Johnny Appleseed and Aunt Mattie					1									2	2	1			
7. A Forest Flower						1								4		1			
8. A Mask for Fear					1									3	1			1	
9. The Way Onwards	1									1				1				1	
10. On Umbrellas														2	2	1			
11. Writing between the Lines	1									1				4		1			
12. The Open Window					1									4		1			
13. New Year's Resolutions														1					
14. The Valentine Card														1					
15. The Necklace						1								4		1		1	
小計 (1学年)														24	21	0	7	8	0
小計 (2学年)	3	1	1	0	4	1	1	2	1	2	1	0	24	21	0	7	8	6	0
小計 (3学年)																			4
総計 (全学年)																			2

高等学校英語検定教科書分類表

分類	ジャンル				内容						指導・啓発領域の質								
	説明文	論説文	事実物語	伝記	手紙	会話	小説	戯曲	その他	題			素			国際理解	一般教養	その他	
										人文	芸術	言語	社会	科学	スポーツ				その他
1. Spring in England									1								1		
2. In a Small Town	1								1										
3. A Visitor at Hight									1										
4. A Letter to Tina																			
5. The Sea Gulls of Salt Lake City										1					1米		1		
Time for Poetry (1)															1米			1	
6. The Hidden Power																		1	
Why the Doctor Was Late (For rapid reading)																		1	
7. Change at Crewe																		1	
8. Measurement of Time	1																	1	
9. Town Meeting																		1	
Time for Poetry (2)																		1	
The Story of Soapy (For rapid reading)																		1	
10. Christmas in the Country																		1	
11. His First Car																		1	
12. The Tog																		1	
13. The Beginning of Jazz	1																	1	
The Snake and the Preamos (For rapid reading)																		1	
小計 (1学年)	3	4	1	1	1	1	2	3	9	1	2	2	3	22	7	2	6	16	15
小計 (2学年)																			
小計 (3学年)																			
総計 (全学年)																			

高等学校英語検定教科書分類表

教科書名

The Crown English Readers

Book 3

分類 課	シ ャ ン										内 容						指 導 ・ 啓 発 領 域 の 質													
	説 明 文	論 說 文	事 實 記 載	紀 行 文	手 紙 文	會 話 文	小 説 文	歌 曲	詩	そ の 他	題 材			素 材			語 言 関 心 に 関 す	国 際 理 解	一 般 教 養			情 操	道 徳 性	そ の 他						
											人 文 学	社 会 学	ス ポ ー ツ	そ の 他	文 芸	文 学			人 文 学	社 会 学	自 然 科 学				自 然 科 学	社 会 学	人 文 学	自 然 科 学	そ の 他	
1. Alice and the Cheshire Cat							1							1			1					1	2							
2. My Antonia			1											1			1						2	1						
3. What Communication Means		1						1						2			2													
4. The Great American Game											1																			
5. The Nomad Life																									2					
Poetry for You (1)																														
6. Life in Canada			1								1																			
7. The Way People Speak		1																												
8. Gift from the Sea																									3					
9. The Promise of Japan		1																												
Poetry for You (2)																														
10. Mother Goose		1																												
11. My Father Arnold Toynbee																														
Poetry for You (3)																														
12. The Stages in History		1																												
13. The Winter of Man		1																												
小 計 (1学年)	2	1	4	1							3	8	1									10	8	1	3	4	6	2		
小 計 (2学年)	2	1	4	2	1						2	1	8	1								12	8		2	7	2	2		
小 計 (3学年)	1	6	1	4							1	5	1	1								6	10	8	8	0	1	2	3	0
總 計 (金学年)	5	8	9	7	1						6	1	3	21	2	1	8	3	1	4		6	32	24	9	3	6	13	11	4